記者発表資料

平成２７年　８月２６日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

国道４号渋民バイパスが全線開通して３ヶ月

物流事業者の方々から「輸送時間の短縮・変化」を実感との声

国道４号渋民バイパス（延長 5.6 ㎞）が、平成２７年４月１２日に全線開通しました。
開通３ヶ月後の交通状況・整備効果をとりまとめましたのでお知らせします。

【直接的な整備効果】

■大型車交通がバイパスに転換し夜間騒音が改善

○バイパス並行現道が全線で夜間環境基準値（65dB）を下回る結果。

- 平成 16 年度開通区間並行現道：開通前 68dB→開通後 62dB
- 平成 27 年度開通区間並行現道：開通前 67dB→開通後 56dB

【間接的な整備効果】

■ 所要時間が短縮し、物流事業者が輸送時間の変化を実感

○全線開通により所要時間が約４分短縮

- 物流事業者からは定時性の向上や燃費向上の声。走行速度も向上。

■利用者から利便性が向上したとの声

○約７割の方が「走りやすくなった」との声

【参考：燃費向上】

○渋民BP 全線開通による走行速度の向上により、燃費が向上。
ガソリン代を年間約 10,000 円節約

＜発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会＞

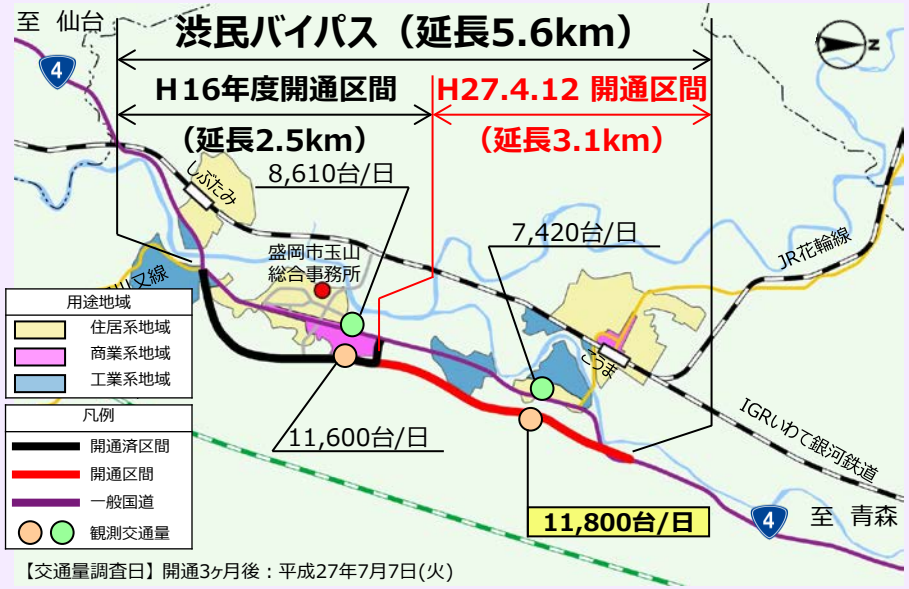
【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
〒020-0066　盛岡市上田４丁目２－２
副所長（道路）　木越（きごし）　養一（よういち）　（内線２０５）
電話０１９－６２４－３１３１　（代表）
調査第二課長　　伊藤（いとう）　英和（ひでかず）　（内線４５１）
電話０１９－６２４－３１９６　（調査第二課直通）

【開通後・3ヶ月】一般国道4号

渋民（しぶたみ）バイパスが開通して

（平成27年4月12日開通）

①現道を通過する交通が減少し、夜間騒音が改善
②物流事業者が時間短縮を実感
③利用者から利便性が向上したとの声



【交通量調査日】開通3ヶ月後：平成27年7月7日(火)

▼開通前の車両通行状況



開通後

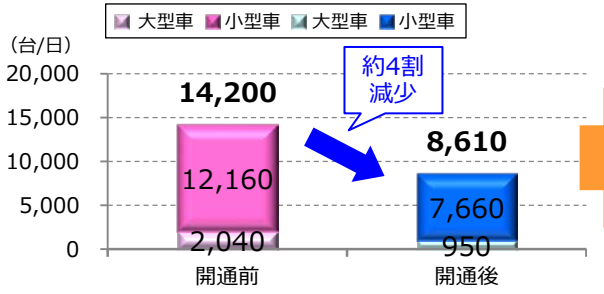
▼開通後の車両通行状況



① 現道を通過する交通が減少したことで、夜間騒音の基準を下回り、沿線地域の生活環境が改善

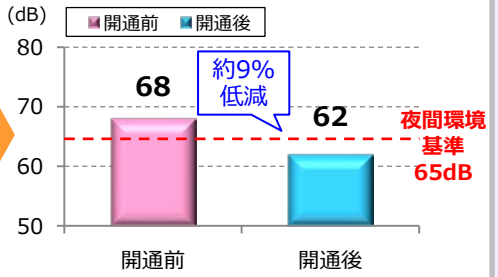
・現道を通過する交通が、H16年度開通区間で約４割減少、今回開通区間で約６割減少した。
・通過交通の減少により、夜間騒音が環境基準を下回り、沿線地域の生活環境の改善に貢献。

▼国道4号渋民地区現道の交通量の変化



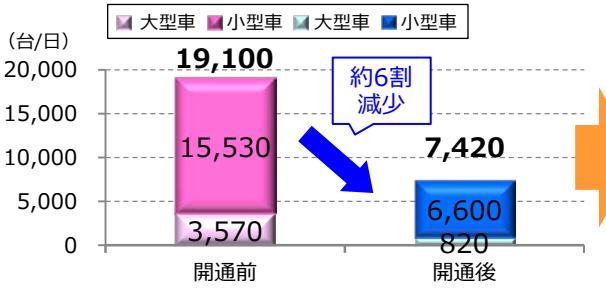
（H16年度開通区間）

▼夜間騒音レベル



（H16年度開通区間）

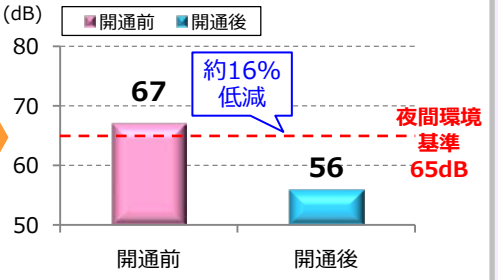
▼国道4号渋民地区現道の交通量の変化



（今回開通区間）

【交通量調査日】開通前：平成26年11月18日(火)
開通後：平成27年7月7日(火)

▼夜間騒音レベル

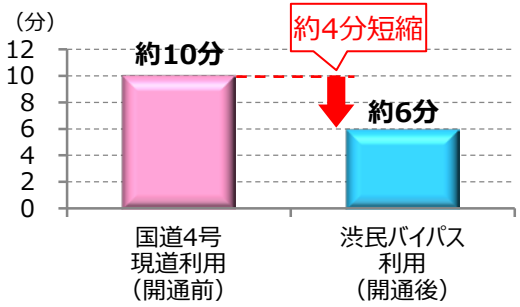


（今回開通区間）

【騒音測定日】開通前：平成26年11月18～19日
開通後：平成27年7月7～8日

② 所要時間が短縮し、物流事業者が輸送時間の変化を実感

▼所要時間の変化
（渋民BP南口交差点～新渋民BP北口交差点間）



出典：岩手河川国道事務所 プローブ調査
・国道4号現道利用（開通前）：H26.11.18（火）11時台
・渋民バイパス利用（開通後）：H27.7.7（火）11時台

渋民地区を利用する物流事業者の声

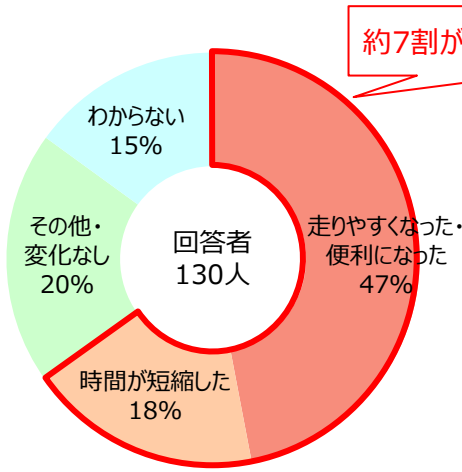
・搬送で現道を通っていたが、全線開通後は、全て渋民バイパスを通るようになった。
・町中を通らなくなったおかげで、約５分程度短縮しており、定時性向上につながっている。
・少しではあるが、車両の燃費向上にもつながっている。

（H27.7 物流業者ヒアリング調査）

③ 利用者から利便性が向上したとの声

・道路利用者の約７割（65%）が全線開通の効果を実感。

▼渋民バイパス全線開通後の効果

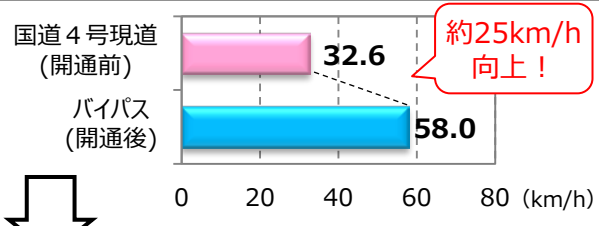


※道路利用者ヒアリング調査
調査日：H27.5.5（祝・火）、調査箇所：道の駅石神の丘

道路利用者の声

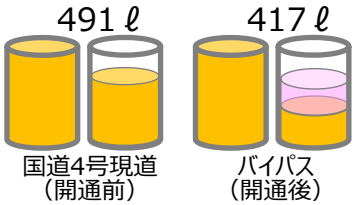
・景色も良く、早く来ることができるようになりました。やっと開通になって嬉しいです。
（50代男性、紫波町）
・現道側の信号でいつも時間がかかっていたけど、バイパスができてまっすぐ来れるようになったので、良くなったと思います。
（30代男性、一戸町）

燃費が向上し、ガソリン代を年間約10,000円節約！（試算）



出典：岩手河川国道事務所
プローブ調査
・国道4号現道利用（開通前）
H26.11.18（火）11時台
・渋民バイパス利用（開通後）
H27.7.7（火）11時台

年間1台あたりの
燃料消費量は…



年間約74ℓ
の削減



**年間約10,000円の
ガソリン代節約に！**

出典：国土技術政策総合研究所資料「自動車排出係数の根拠」
（ガソリン代139.5円/ℓ、2t貨物車がバイパスを１日１往復利用した場合として算出）

